



ロータリー財団月間にあたり

国際ロータリー第2510地区 ロータリー財団委員会

委員長 松原 重俊
(砂川RC)

日頃からロータリー財団に対し、ご理解とご協力を頂いておりますことにお礼と感謝を申し上げます。1917年、当時のロータリー会長アーチ・クラフが、「世界でよいことをするための」基金の設置を提案。このビジョン、そして26ドル50セントの最初の寄付が、全世界で多くの人々の人生を変える財団へと発展し、それから100年にも及ぶ長きにわたり教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額40億ドル以上の資金を提供してきました。ロータリー財団の使命は、ロータリーの会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できるよう支援することです。そして、地区ロータリー財団委員会は、地区の財団補助金事業及び寄付推進により多くの会員が参加できるよう啓蒙活動の手伝いをするとともにロータリー財団とクラブ会員をつなぎ、地区補助金等のロータリー財団資金のさらなる活用を推進しながら、地区財団資金推進委員会とともに活動の元となる寄付推進、「ゼロクラブ0」の達成、冠名基金の創設等、資金寄付推進（ファンドレイジング）に注力いたします。これまで行われてきた種々の財団プログラムを、ロータリー財団とクラブをつなぐ財団補助金委員会、ポリオ根絶の推進を目指すポリオ・プラス委員会、日本だけでなく世界にとって有能な人材を育てる財団奨学金・平和フェロー委員会、様々な苦境にある世界の子供たちへの人道支援奉仕活動を推進する国際奉仕・VTT委員会等の活動をクラブへ紹介し、ロータリー財団への寄付が様々な場面で有効に使われております。ご存じの通り、財団へのご寄付は、①年次基金：毎年1人150ドルをお願いしている基金で3年間運用し、そのすべてが事業に使われます。②恒久基金：元金を使わず運用益を翌年度の活動に使用。③ポリオプラス基金：1人30ドルをお願いしている基金で、ポリオ根絶のために使用する。

皆様からの温かいお気持ちが日本だけでなく世界中の支援が必要な沢山の方の助けになるとともに、優秀な若者に勉強の機会を与える一助になっていることを知って頂きたいと思っております。

ロータリー財団は、皆様からの温かいご支援が全てです。どうぞ今後ともロータリー財団に対し、皆様のご理解とご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。